ＮＰＯ法人北海道歩くスキー協会「歩くスキー第１９号」（令和元年度第１回）令和元年７月３１日

もっとスポーツを！！いつでも、どこでも、誰でもできる

歩　く　ス　キ　ー

令和の時代を迎えて

北海道歩くスキー協会　会長　丸山光徳

皆様方におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。夏の日差しが強くなってきた今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

昭和、平成と続いてきた当協会も、令和の時代に入り３つの年号で活動することになりました。その間、正会員、一般会員の皆様方には、たくさんのご協力とご支援ありがとうございました。令和の時代を迎えるにあたりより充実した活動ができるように努力していく所存でございます。

６月の総会におきまして、大会につきましては、今年度も各大会とも継続して運営をしていきます。「道民・市民歩くスキーの集い」は、参加者増を目指して前年度より団体割引を取り入れました。今年度も引き続き行っていきますので、まだ、参加されていない方がいらっしゃいましたら、声をかけていただきぜひご参加して頂ければ幸いです。

正会員、一般会員もここ数年減少をしております。新会員のご入会を歓迎しております。また、協会の方でも初心者に講習する機会があれば、積極的に取り組んでいく所存でございます。

１０月からは、消費税の増税が行われそうです。当協会は、皆様方から収めていただく年会費と各種大会での運営費で予算を立てております。一般会員の会費は、昭和４９年の設立時より同じ会費になっております。郵送料も１０月より変更になるようです。ＩＴ時代の今、メール・インターネットがかなり普及してきております。そこで皆様方にお願いです。今まで郵送でご連絡していました物の内、可能なものは、メールにて皆様の元を届けるようにしていきたいと考えております。ご協力いただける方は、メール(h_arukuski@yahoo.co.jp)にて事務局にご連絡いただければ幸いです。メールが可能でない方は、いままで通りの郵送にてご連絡いたします。

８月、９月と協会の行事がありますのでぜひご参加ください。それでは、また、１年間よろしくお願い申し上げます。

令和元年度　通常総会・距離認定表彰式・会員親睦会

６月１６日（日）１０時３０分からアサヒビール園はまなす館において、令和元年度通常総会を開催しました。当日は３９名（委任状を含む）が参加し、下記議題を全会一致で承認しました。

令和元年度通常総会議題：(1)平成３０年度　会務運営報告、資産報告、（２）平成３０年度　事業報告、（３）平成３０年度　決算報告、無線機購入報告についておよび期末消耗備品在庫表について、（４）平成３０年度　監査報告、（５）令和元年度　会務運営方針（案）、（６）令和元年度事業計画（案）、（７）令和元年度　予算（案）、パソコン１台１００，０００円購入について、（８）令和元年度　理事、監事、（会長の挨拶）名誉会長および顧問、（９）その他　平成３０年度正会員在籍者名簿、一般会員在籍者名簿および令和元年度各在籍者名簿について、メールアドレスの登録について、事務局勤務日の変更についておよび令和元年度前期事業出欠票について。（事務局勤務日の変更は４頁、事務局からのお知らせを参照願います。）

また、１０００ｋｍを達成された山田覺様の距離認定表彰を致しました。

さらに、新規正会員として葛西　直登さんを紹介致しました。

引き続き１２時２０分よりロイン亭にて懇親会を行い、本年度の活躍を誓い会員の親睦を図りました

（新会員の紹介）

（懇親会の様子）

協　会　ニ　ュ　ー　ス

令和元年度前期行事及び協力事業

次の令和元年度前期行事及び協力事業が通常総会で可決されました。

月日（曜日）	事業名	場所・内容	備考
（1）６/１６（日）	通常総会	アサヒビール園はまなす館	実施済み
（2）８/１８（日）	旧国鉄千歳線探訪ウオーキング	白石～厚別	主催事業
（3）８/２５（日）	2019 北海道マラソン給水ボランティア	15.0ｋｍ地点、走者給水支援	協力事業
（4）９/２９（日）	札幌市近郊軽登山	円山から三角山、円山動物園	主催事業
（5）１１/２４（日）	後期集会	アサヒビール園はまなす館	正会員対象
（6）１２/７（土）	救命救急講習会	プラザ星園又は札幌医師会	主催事業

平成３０年度　後期事業

○第３７回　蘭越町ニセコ連峰歩くスキー大会

（チセヌプリの麓を行く）

平成３１年４月１４日（日）、快晴、スタート時の気温９℃のなか今シーズン最後の歩くスキー大会が蘭越町ニセコ連峰チセヌプリ山麓周辺で行われました。白樺コース　５ｋｍ、シャクナゲコース　１０ｋｍ、チセヌプリコース　１５ｋｍ、パノラマコース　３０ｋｍと初心者から上級者までのコースに１４３名（道内外）が参加しました。

本年は蘭越町開基１２０周年記念大会として開催されましたが、春の陽ざしを浴びながらニセコ連峰の雄大な景色を満喫し、爽やかな汗を流しました。会場では、蘭越町特産品の出店や豚汁・コーヒの無料サービスがあり大好評で、ゴール後に、豚汁を食べながら初めて参加した７０歳代の男性は「タイムも順位も関係なく景観を皆で楽しむ歩くスキー大会で“ほのぼの”とした大会でした。」と笑顔で話しておりました。帰りには雪秩父温泉で無料入浴をして汗を流し、仲間同士で今年の大会とシーズンを振り返りました。

○令和元年　環境保護講座　西岡公園（西岡水源地）植物の見学

年号が改まった令和元年５月１９日（日）１０：００～１２：４０の午前中、西岡公園（札幌市豊平区西岡４８７）で　快晴、気温２４℃と初夏を感じさせるなか、参加人員２０名で管理事務所～自然公園一周の一部～水源地一周７．８ｋｍのコースを巡りました。

当公園は、西岡水源地と呼ばれる貯水池を中心に月寒川及びその上流域の湿原と森から成る公園で水と緑に恵まれた環境に多様な動植物が生息しています。水が豊かな公園内ではヘイケボタル等が生し、またバードウォッチングや自然愛好家に広く親しまれています。

今回は事前調査した主な開花植物２５種類を探して頂き幹事の解説等があり、自然に対する環境を学ぶ事に致しました。可憐に咲いたオオバナエンレイソウ、ヒトリシズカ、ツクバネソウ、マイズルウ、シラネアオイ等々を見つけ自然を身近に感じながら歩きました。参加した６０代の女性は「札幌の中心部の近くに、この様な自然度の高い場所が残されていることが感動的でした」と笑顔で話していまた。

貯水池として作られた西岡水源地だけではなく、その南側には湿原があり、遊歩道が整備されていました。湿原には、水芭蕉の開花は終わっていましたが、綺麗に咲く光景は、まさに札幌にある小さ「尾瀬」を連想させる素敵な公園でした。

（参加者の皆さん）

環境保護講座は、協会の理念の一つに恵まれた自然に親しみ環境を守り、その破壊を防ぐように技術面でなくスポーツのマナーや自然保護の理念を復旧する。すなわち暖冬異変に伴い降雪が少ないとスキーが出来ない。この様な願いを込めての環境保護講座が１０年前から始まりました。次年度も企画いたしますので、参加の程よろしくお願い致します。

協　会　ニ　ュ　ー　ス

市民スポーツ・歩くスキーの空想について

北海道歩くスキー協会　顧問　芳賀孝郎

昨年１２月、日本山岳会年次晩餐会へ出席のためＡＮＡに乗った。機内誌の「翼の王国」を開いて見ると、その中に「ノルウェー・オスロの冬の楽しみ」の記事が載っていた。オスロの週末は、多くの老若男女の市民がオスロより４０分電車に乗り、そこからオスロを目指してのＸＣスキー（歩くスキー）の風景があった。その記事に「ノルウェー人はスキーを履いて生れて来るよ」の文章があった。

（ノルウェー大使夫妻と板垣札幌市長）

１９７６年第３回道民・市民歩くスキー大会にノルウェー駐日大使ブラックスタッド夫妻が参加した。その時にスピーチで上記と同じことを話された。大使ご夫妻の参加は歩くスキー大会に大きな影響を与えた。

（堂垣内知事夫人とノルウェー大使夫妻、大使館員。左端は芳賀顧問夫人）

当時の堂垣内北海道知事ご夫妻、板垣札幌市長も参加した。まさしく道民・市民歩くスキー大会であった。

これを契機に歩くスキー大会の参加人数は、１０００人以上になる隆盛を極めた。

その実績のもとで札幌国際スキーマラソン大会が１９８１年に開催された。札幌スキーマラソンは１万人を超える参加者となり、国際的な大会となった。その当時私たち歩くスキー仲間は、将来札幌の中心、大通公園を歩くコースにして市民参加を呼び込もうと話会った。

一方市民参加の歩くスキーを使用して近郊の山々へ、ムイネ山、春香山、奥手稲等のツアースキーを楽しむ行事、支笏湖・札幌間の長距離歩くスキーの集いも開催された。しかし１９９０年代後半から歩くスキー大会もスキーマラソンも参加人数は年々少なくなり、現在は最盛期の２０％以下に減少した。これは経済不況の影響と高齢化社会と重なり、更に若い人たちの楽しみ方の変化により参加が少なくなったのであろう。

私は２００７年札幌で開催されたノルデックスキー世界選手権大会で日本選手を応援するため友人３人と共に東京からやってきた。ＸＣスキーの花形レース４０ｋｍリレー競技の応援席は満員の観客と予想していた。しかし予想に反して応援席はノルウェー、スウェーデン、フインランドの北欧三国の応援団に占められていた。日本の応援団を探しても見つからず、遠くに３人組と５人組がばらばらに座っていた。ここは日本・札幌で開催されている大会なのかと思った。

競技が始まると北欧の国々の応援団の笛やラッパ、太鼓の応援合戦が始まった。私たちは大声で日本選手を応援しても太鼓の音には及ばない。

私は２０１１年秋、東京での仕事を終えて札幌に帰って来た。その目的は冬を楽しむスキーをすることであった。２０年ぶりに改めてＮＰＯ法人北海道歩くスキー協会に入会した。幸いなことに昔の仲間がまだ活躍をしていた。

２０１４年に北海道歩くスキー協会創立４０周年記念祝賀会が開催された。歩くスキー協会は競技団体ではない市民スポーツ団体である。その協会が４０年存続したことを喜び、更なる存続を祝い、誓った。それから４年が過ぎた。協会は地味に各歩くスキー大会の主管として活動している。

今年障害者歩くスキーの集いは３９回を迎えた。協会の人たちのお世話が続いている。そして顔なじみのスキーヤーにお会いするのが楽しい。

道民・市民歩きスキー大会は４４回となった。来年は４５回大会となる。私個人として、５０回大会迄生き延びたいと願っている。

札幌市は再びオリンピックを目指している。当初は２０２６年を計画していたが４年遅らせると最近発表された。札幌市民は本当にオリンピックに関心があるのだろうか？２００７年の世界選手権大会の市民参加の様子を見て、私は大いに疑問を持っている。

ところが１月６日北海道新聞を読んで私は喜んだ。再度の札幌オリンピック大会を目指して、札幌中心街・大通公園にクロスカントリースキー選手を走らせるスキーコースを構想中との記事があった。１９５万の大都市・札幌が世界に誇れる計画である。一般市民、数千人が円山総合グラウンドから札幌の中心街まで、歩くスキーのパレードを企画したいものである。私はそれまで生き延びているだろうか。

是非実現したいものである。

2019 年 3 月記

会　員　の　広　場

シニア大学講座のお知らせ

北海道歩くスキー協会　名誉会長　浜島　泉

歩くスキーとは関係ありませんが、耳よりの情報と感じてもらえるかもしれませんので、お知らせします。

令和２年１月１５日の水曜日に午後１時半から３時まで札幌市社会福祉総合センター４階のホールで開講されるシニア大学の講師として講義します。シニア大学というのは、札幌市と札幌市老人クラブ連合会が主催して２年間に５０日（１００講義）くらいの講座を行います。年間８０名くらいが受講します。２年間の課程を修了すると卒業証書が授与されます。公開講座の場合は、この日だけ受講することも出来るのです。私の場合は公開講座ではないので、聴講の場合は受付で「浜島の知り合いです」と告げてください。

当日のテーマは「老後の備えのカキクケコ」という題名です。このテーマは以前にも、（冬季集会でも）話したことがあるのですが、響きがいいのと、医師の健康講話としては堅苦しくない内容なので、アンコールで所望されたのです。カキクケコの種明かしをしますと、カはかかりつけ医、キは気配り、クは暮らしの知恵、ケは健康習慣、コは心の通う友達です。

これは私の思い付きでなく、厚別区の民生委員が、平成八年から１２年までに実施した約１，０００名の一人暮らし高齢者の生活実態調査に基づいています。私は、この時期に厚別区の保健福祉部長に任命されたものですから、お願いして、これの集計をさせて貰ったのです。全数調査ではないのですが、６地区のうち４地区は９０パーセント以上の回収率でしたから、信頼性はたいそう高いと思います。

数字だけ上げますと、札幌市の６５歳以上の男女比は男性１対女性３ですが、この調査の一人暮らし高齢者は男性１対女性5、十年以上一人暮らしは男性１対女性６になります。女性が長生きするのは知られたことですが、なぜ女性が長生きするか、どのような生き方をするのかも分析しました。

その内容は、たいそう興味ある結果が出たのですが、字数が越えてしまいますので、聞きたい方は、当日お越しください。知り合いに紹介してくださっても結構です。

（事務局からのお知らせ）

○一般会員様へ　　メールアドレスの登録のお願いについて

現在、郵便料金も大幅に上がっております。また１０月からは消費税１０％ということでまた値上げが予定されています。郵送料の経費節減を図りたく、協力頂ける方はメールアドレスを登録して頂きたくご協力お願い致します。協力できる方は事務局まで空（から）メールをお願い致します。

○会費のお知らせ

会費のご案内ですが、まだ、令和元年度分会費２０００円未納の方は納めて頂けるようお願い致します。協会は会員の皆様方に支えられておりますので、何卒ご理解の程宜しくお願い致します。

○事務局の勤務日・業務日について（令和元年５月より実施）

夏季：５月１日から１０月３１日　火、金、土曜日の３日間　　時間：１０：００から１７：００
冬季：１１月１日から４月３０日　火、水、金、土曜日の４日間　時間：１０：００から１７：００

○はじめての人でも「歩くスキーを楽しめる本」

歩くスキーを初めての方にもわかりやすく解説している本です。
事務局で販売中です。（定価８４０円）

NPO法人　北海道歩くスキー協会事務局

〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5－74　市民活動プラザ星園　405号室

電話/FAX：011－532－7160

勤務日・業務日　夏季：５月１日～10月31日　火、金、土曜日　　時間:10時～17時
冬季:11月１日～4月30日　火、水、金、土曜日　時間:10時～17時

ホームページ　：　h-arukuski.sakura.ne.jp

メール　：　h_arukuski@yahoo.co.jp

郵便為替、口座記号番号:02740－8－100335　北海道歩くスキー協会